



本大岡地区 社協だより

発行：本大岡地区
社会福祉協議会
広報委員会
2022年12月

～地下鉄50周年. その前は～

なつかしの市電

弘明寺ーお三ノ宮間開通（大正3年）

弘明寺駅は六角橋や桜木町方面への起点

地下鉄が開業するまで58年間、市民の足



1968年(昭43) 地下鉄 弘明寺駅周辺



1956年(昭31) 通町1丁目交差点

写真提供
横浜市発展記念館

本大岡健康クラブ

本大岡地区で活躍する地域団体をご紹介



本大岡地域の見守り隊

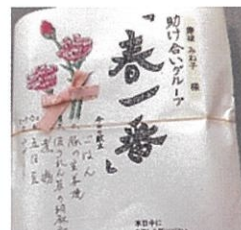
『助け合いグループ 春一番』

「春一番」は1998年、地元の主婦らで立ち上げたボランティア団体です。大岡地域ケアプラザを拠点に月4回土曜日の午後に、高齢者など、ご自身でお食事の準備が難しい方に手作りのお弁当をご自宅までお届けしています。

これからも必要とされる方にお弁当を届けられるよう、若い世代へ活動が受け継がれ、いつまでも続くことを願っています。

◆ご利用できる方◆

- ・高齢単身者または、高齢世帯でご自分の
お食事の準備が難しい方・障がい者世帯の方
- ・病気など一時的困難な方・ご家族のサポートが難しい方



◆利用料金◆

1食500円※事前にチケット（5回分）を購入していただき、配達時にチケット精算します。

【お問い合わせ】

ご利用の相談は、大岡地域ケアプラザまで（TEL：045-743-6102）

大岡川

思い出の青春

前号に、昔、観音橋の袂にあった有楽座の写真が載っていた。終戦後、現在のように娯楽にあふれている時代と違って、何も無かった時代である。若者、子供の唯一の楽しみは映画を観ることだった。弘明寺界限には、春風座（中島町二丁目）、東亜劇場（中島町四丁目）、有楽座、スバル座（ともに弘明寺町）の4館があって、邦画、洋画の名作がよく上映されていた。小生が観た洋画の“レ・ミゼラブル”、“風と共に去りぬ”だ。高校生の時、学校で友達と映画研究部というクラブを創り、オデオン座、横浜ピカデリー等伊勢佐木町、関内にあった映画館に名作が懸かると、各映画館を巡り、我が学校の生徒には特別料金で観せて貰えるよう、支配人に交渉に行き了解を貰うと割引券をガリ版印刷して希望する生徒に配布したのを覚えている。懐かしい青春時代が甦る写真だった。

弘明寺町山下町内会 田中 邦夫

俳句

過疎の村ひそひそ語るかかし達 北ノ前 藤娘	ながめては口にふくんで新酒かな 通町3・4 花霞	秋は月やがて寂しき雲がくれ 通町1・2 小よし
十六夜はゆるりと昇る紅い月 前田 梨花	風なくて銀杏落ちる夜半時 第一大岡 江女	故郷の香りが届く梨の箱 大橋町 春暁
Tの字に古着きせられ稲穂波 南 卯月	徒競走ひこうき雲を追いかけて 若宮3・4 若葉	行く秋や終の栖のすきま風 山下 鴻洞

編集後記

今回の社協だより発行で、通算第80号になります。時の経過はコロナ禍を含めて編集内容も変わってきましたが、これからも、広報委員会のメンバーと共に歩んでいきます。

広報委員会 若宮町3・4町内会 辺見武士